

中国自然歩道

津和野コース



青野山

いなかの道を、リュックでもかついでのんびりと歩いていると、おもわないところで清らかな小川や、名も知らないかわいい花に出会うことがあります。また、道ばたにぽつんと立っている朽ちかけた道標が、その地方の歴史を語りかけてくれる時があります。こんな忘れられそうなふるさとの美しい自然や文化的遺産を、中国5県が協力して一本の歩道で結んでいます。それが中国自然歩道です。この自然歩道の延長は、中国5県でも約1,900km、県内でも約537kmという長いものです。このような長い自然歩道のうち、県内でも特にみどころの多いコースをモデルコースとして紹介します。

さあ、美しい自然やふるさとの歴史を求めて、自然歩道にとび出しましょう。

コースの概要

津和野町は島根県の西南端に位置し、山口県と県境を接する古くからの地方政経文化の中心地で、山陰の小京都ともいわれ、現在も昔ながらのたたずまいを残している。町の中央を流れる津和野川をはさんで、東に青野山、地倉沼、西に城山がそびえる景勝の地で、町には数多くの史跡等もある。

これから紹介する津和野コースは、津和野町徳次の県境で山口県ルートを受け、津和野町内を通って日原町左鐙に至る延長約35kmのコースで、このうち城山、南谷渓谷、青野山、地倉沼のモデルコースは、歩きながら史跡、森や川、野鳥のさえずりなど自然環境と歴史が楽しめる絶好の自然歩道となっている。

城山モデルコース



● 鷺原八幡宮

鎌倉鶴ヶ丘八幡宮を勧請したもので、喜慶元年(1387年)社殿が建立された。社殿、桜門は鎌倉時代の神社建築様式をとどめており、県の文化財に指定されている。一帯は鷺原公園となっている。

● 流籠馬の馬場

鎌倉鶴ヶ丘八幡宮の馬場を模した全長270mの広大な馬場で、鷺原八幡宮の境内にあり、日本にただひとつ原形を残す貴重な文化財として、県の指定史跡になっている。

● 津和野城跡

三本松城、落城とも呼ばれ、鎌倉時代吉見氏が築城し、以後坂崎氏、亀井氏の居城として受け継がれた。中世の代表的な山城として国の史跡に指定されており、現在は、石塁を残して昔の面影をとどめ、城跡からは津和野の街並が望め絶景である。

● 嘉楽園

亀井家の藩邸お庭跡で、入口には、物見櫓、馬場先櫓があり、藩政時代の遺構として貴重なものである。中央に亀井氏最後の名君茲監の顕徳碑があり、茲監の高徳を後世に伝えている。

● 太鼓谷稲荷神社

江戸時代、亀井氏が津和野城の鎮護と藩民の安寧を祈念して創建したもので、日本五大稲荷の一社に数えられている。開運、産業の守護神として、西日本全域にその崇敬者を集めている。

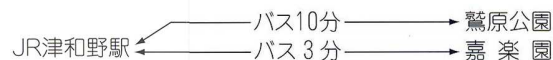
● 津和野の街並

津和野は亀井藩の城下町として栄え、古い街並が残っている。町には森鴎外、西周の旧居、キリシタン殉教史跡等50指に余る文化財を有し、鷺舞は国の無形文化財である。



津和野城跡

交通



南谷青野山モデルコース



● 南谷渓谷

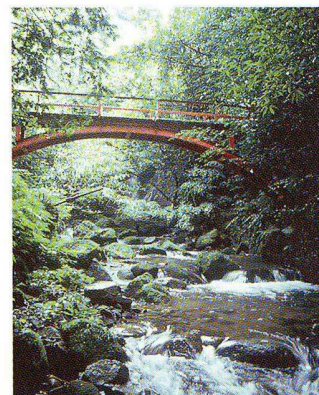
西津和野大橋の下から南谷川(別名笹山木野川)の上流へ、途中いくつかの滝が形成されているが、夏は涼しく、秋には美しい紅葉を楽しむことができ、ハイキングに好適な渓谷である。

● 青野山

その女性的な容姿から別名妹山とも呼ばれ、海拔907m、白山火山帯に属する典型的なトイデ型火山で、山頂からは津和野の街並や日本海が望め、四季を通じて多くの人々に親しまれている。

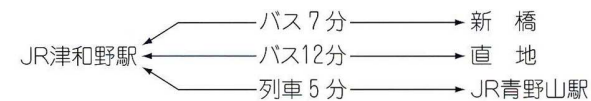
● 青野ヶ原

青野山の中腹の平原は、青野ヶ原(碓)と呼ばれ、南北に細長い窪地が続いている。藩政時代には武士の教練場として使われていたが、現在では、スキー、ハイキングなどの野外レクリエーションに利用されている。

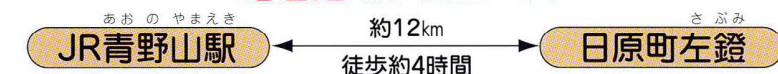


南谷渓谷

宿泊



地倉沼モデルコース



● 地倉沼

青野山火山群に属する地倉山の爆裂火口に混水してできた沼と言われ、ハンノキ、カワヤナギなど水辺植物が豊富で、沼にはモリアオガエルが生息している。

● 鍋山

青野山火山群に属する非常に小さい火山であるが、典型的な火山地形を示し、その形から鍋山と呼ばれている。

● モリアオガエル

地倉沼に生息する日本固有のカエルで、体は鮮緑色である。6月の梅雨の頃になると、産卵を始め、沼地のそばのカワヤナギの枝に白いあわ状の卵塊がぶらさがる。

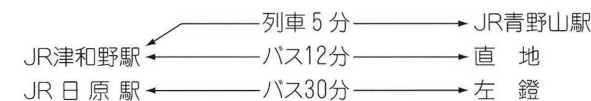


地倉沼



モリアオガエル

交通



宿泊

津和野町	旅館3軒 国民宿舎1軒 民宿11軒 ユースホステル1軒 ホテル4軒 問い合わせ…津和野町観光案内所 ☎(08567)2-1144
日原町	旅館3軒 ペンション1軒 自然体験施設1軒 問い合わせ…日原町観光協会 ☎(08567)4-1221

自然を大切に
ゴミは持ち帰りましょう

自然歩道はみんなの歩道です。ルールを守って利用してください。

1. コースについてはあらかじめ距離・時間・交通機関などについて十分検討し、余裕のあるスケジュールをたてましょう。
2. 天気予報には十分注意し、天候が悪くなったら、予定を変更したり中止する勇氣をもちましょう。
3. 歩行中は禁煙です。たばこは必ず喫煙所で吸いましょう。
4. 動植物を傷つけないようにしましょう。
5. ゴミは持ち帰るようにしましょう。

お問い合わせは

島根県環境生活部景観自然課
〒690-8501 松江市殿町1番地 ☎(0852)22-5348